

平成22年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年6月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,222億円余
2. 前年同月比	-1.8% (店舗数調整後/27か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.9%(88.0%) : 非店頭-1.1%(12.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	934,266㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	20,999人 (前年同月比:+12.2%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -9.9%、11-1月 -8.2%、12-2月 -6.5%、 1-3月 -6.3%、2-4月 -5.4%、3-5月 -4.0%

[参考] 平成21年5月の売上高増減率は-14.0%

【5月売上の特徴】

- (1) 都内各店の入店客数は、ゴールデンウィーク期間中の活況が中旬以降の伸び悩みをカバーする形で、月間トータルでは前年を上回る店舗が過半を占める結果となった。
- (2) 回復傾向にある衣料品については、婦人服ではブラウス、カットソー、ショート丈パンツ、また紳士服では半袖シャツ、ポロシャツなど軽衣料を中心に好調であった。
- (3) 好天に恵まれた今年のゴールデンウィーク商戦は、帰省客・観光客を対象とした菓子類などの「東京土産」や、レジャー・スポーツ関連商材などに活発な動きが見られた。
- (4) 今年の母の日ギフトの特徴としては、ファッション感度の高い帽子、サングラス、夏物ストールなどUVアイテムのほか、シリコン調理器具など実用性・機能性を備えた家庭用品にも関心が集まっていた。
- (5) 東京地区の家庭用品は3か月連続プラスとなったが、その背景には、最近、日常生活での手軽な気分転換のツールとして、食器やキッチン用品を買い求める傾向が出ていること、また法人外商・建装部門の大口受注が押上げ効果を発揮していることなどがある。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)
①増加した: 11店、②変化なし: 4店、③減少した: 5店、④不明: 2店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)
①増加した: 7店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店、④不明: 6店
- (4) 翌月上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)
①増加する: 3店、②変化なし: 12店、③減少する: 4店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年05月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	122,252,633	100.0	-1.8 (-3.3)
紳士服・洋品	10,781,627	8.8	-1.6 (-3.4)
婦人服・洋品	26,192,128	21.4	-3.6 (-5.3)
子供服・洋品	2,721,175	2.2	0.1 (-0.4)
その他衣料品	2,532,596	2.1	-12.2 (-14.8)
衣 料 品	42,227,526	34.5	-3.4 (-5.2)
身のまわり品	17,039,904	13.9	-3.0 (-5.4)
化粧品	6,921,327	5.7	-0.7 (-0.9)
美術・宝飾・貴金属	6,421,948	5.3	0.6 (-2.0)
その他雑貨	6,253,157	5.1	-8.4 (-8.7)
雑 貨	19,596,432	16.0	-2.9 (-3.9)
家 具	2,120,992	1.7	7.6 (4.1)
家 電	609,534	0.5	-23.2 (-23.2)
その他家庭用品	4,942,373	4.0	4.2 (2.8)
家 庭 用 品	7,672,899	6.3	2.2 (0.4)
生 鮮 食 品	4,394,993	3.6	-3.6 (-4.3)
菓 子	7,099,276	5.8	-3.5 (-4.3)
惣 菜	5,866,478	4.8	-3.9 (-4.4)
その他食料品	8,323,936	6.8	-1.0 (-2.8)
食 料 品	25,684,683	21.0	-2.8 (-3.8)
食 堂 喫 茶	3,066,746	2.5	-13.3 (-13.9)
サ ー ビ ス	2,513,343	2.1	21.3 (21.3)
そ の 他	4,451,100	3.6	26.6 (26.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	6,133,741 千円	114.4 (112.9)
従 業 員 数	20,999 人	12.2
店 舗 面 積	934,266 m ²	-3.9

営 業 日 数	31.0 日	前年	30.2 日
---------	--------	----	--------

II. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。子供服・洋品が21か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が4か月ぶり、家具が26か月ぶりにプラスとなり、その他家庭用品が3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.8	—	27か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.6	-0.1	26か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.6	-0.8	22か月連続マイナス
子供服・洋品	0.1	0.0	21か月ぶりプラス
その他衣料品	-12.2	-0.3	25か月連続マイナス
衣料品	-3.4	-1.2	22か月連続マイナス
身のまわり品	-3.0	-0.4	26か月連続マイナス
化粧品	-0.7	0.0	18か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	0.6	0.0	4か月ぶりプラス*
その他雑貨	-8.4	-0.5	24か月連続マイナス*
雑貨	-2.9	-0.5	25か月連続マイナス
家具	7.6	0.1	26か月ぶりプラス
家電	-23.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	4.2	0.2	3か月連続プラス
家庭用品	2.2	0.1	3か月連続プラス
生鮮食品	-3.6	-0.1	2か月ぶりマイナス*
菓子	-3.5	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-3.9	-0.2	26か月連続マイナス*
その他食料品	-1.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
食料品	-2.8	-0.6	20か月連続マイナス
食堂喫茶	-13.3	-0.4	19か月連続マイナス
サービス	21.3	0.4	2か月連続プラス
その他	26.6	0.8	2か月連続プラス
商品券	114.4	2.6	10か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>